

木質バイオマスレベルモニターシステム

「安全上のご注意」

本製品の取扱いにつきましては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあとも保存し、必要なときにお読みください。

- 取付け・稼働・保守・点検などの前に、必ずこの「安全上のご注意」と本製品の取扱説明書の内容をよく理解した上で、本製品を正しく安全にお使いください。
- 本製品は、厳しい品質管理のもとに製造しておりますが、本製品が万一故障することにより人命、身体または財産に重大な損害が予測される場合は、前もってこれを回避するための措置を講じてください。

■ 安全に関する絵表示について

安全に関する内容により、その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解した上で、本文をお読みください。

	危険 : この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりするほか爆発や火災が切迫して発生することが想定される内容を示しています。
	警告 : この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりするほか爆発や火災を起こす可能性が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



●記号は強制(必ず実行していただくこと)を示すものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為)が描かれています。

注：本製品は、木片を対象としています。

その他の対象物へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所（7ページ）へお問い合わせください。

超音波センサー

 危 険	
 非危険場所への設置	<p>■ 法規上、非危険場所に設置してください。 引火・爆発事故などの原因となります。</p>
 警 告	
 設置環境	<p>■ センサーを設置した貯蔵サイロ内は、常温・常圧環境や風の影響を受けない環境、また粉じん・蒸気などのない環境としてください。 センサーは超音波を使用するため、真空・高圧等の環境下では使用できません。また、同センサーは空気を伝達媒体とするため、局所的な温度差がある場合や風が存在する場合、また粉じん・蒸気等が存在する環境下で使用すると、誤作動や誤計測などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 防水対策	<p>■ センサーに水滴などが付かないように必ず防水対策を講じてください。 センサーに水滴などが付くと、誤計測や誤作動などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 設置高さ	<p>■ センサーは検出可能な高さに設置してください。 センサーの検出範囲外で超音波が反射されると、作動が不安定になります。センサーの検出範囲を守るよう、設置仕様に基づいてセンサーの設置高さを決めてください。</p>
 禁 止	<p>■ 多種周波数成分を含む音（エアノズル等）の近くでは使用しないでください。 誤計測や誤作動などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 禁 止	<p>■ センサーに衝撃を与えないでください。 センサー内部に組み込まれた精密電子部品が破損するなど、誤計測や誤作動などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 禁 止	<p>■ 設置完了後は、センサーボックスの扉をあけないでください。 センサー作動中に扉が開くと、誤計測や誤作動などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 センサーの取付け	<p>■ センサーは、設置面にアンカーボルトなどでしっかりと取り付け、防水性保持のためのシーリングを十分に施工してください。 センサーが設置面より落下すると、センサー内部に組み込まれた精密電子部品が破損したり、入水による短絡（ショート）や腐食による接触不良などにより、感電事故、誤計測や誤作動などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>

超音波センサー

 警 告	
 禁 止	<p>■ サイロ清掃でサイロ内に入る場合などは、同センサーに身体や機材などを接触させないでください。</p> <p>誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 禁 止	<p>■ センサーは水に浸かったり、水没した状態で使用しないでください。</p>
 禁 止	<p>■ 本製品は絶対に分解や組み直し・修理・改造などは行わないでください。</p> <p>故障の原因となります。</p>

モニター盤

 危 険	
 非危険場所への設置	<p>■ 法規上、非危険場所に設置してください。</p> <p>引火・爆発事故などの原因となります。</p>

 警 告	
 モニター盤の設置	<p>■ モニター盤は、警報が発せられた際に常時確認できる場所に設置してください。確認できる場所に設置できない場合は、警報ブザーを警報が発せられた時に常時確認できる場所に設置してください。</p> <p>在庫切れ事故などの原因となります。</p>
 警報値の変更	<p>■ 各警報値の設定を変更した場合は、在庫オーバーや在庫切れなどが生じない範囲に設定されているかを必ず確認してください。</p> <p>在庫オーバー事故、在庫切れ事故、誤計測や誤作動などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 補給警報発報時の対応	<p>■ 補給警報が発せられた時は、警報を停止し、貯蔵サイロ内の木片在庫量の減少を目視にて確認し、速やかに在庫の補充をするなどの処置を講じてください。</p>
 D種接地工事	<p>■ D種接地工事（接地抵抗 100Ω 以下）を行ってください。</p> <p>感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>

モニター盤

 警 告	
 単独配線工事	<p>■ センサーからモニター盤までのケーブルは、導体公称断面積 0.75mm² 以上の MVVS ケーブルを使用し、単独の金属電線管工事を行ってください。</p> <p>誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 ケーブル線加工後の結線	<p>■ モニター盤の端子台に結線する際は、ケーブルに絶縁被膜付圧着端子加工などを施してから結線をしてください。</p> <p>ケーブルの導通不良により感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 誤作動確認	<p>■ 本製品と他の機器またはシステムが接続されている場合に本製品の入力電源を切る際は、他の機器およびシステムに誤作動が生じない事を確認の上、入力電源を切ってください。</p> <p>誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 禁 止	<p>■ モニター盤に衝撃を与えないでください。</p> <p>モニター盤内部に組み込まれた精密電子部品が破損するなど、誤計測や故障などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 モニター盤の取付け	<p>■ モニター盤は、設置面にアンカーボルト等でしっかりと取り付け、防水性保持のためのシーリングを十分に施工してください。</p> <p>モニター盤が設置面より落下すると、内部に組み込まれた精密電子部品が破損したり、入水による短絡（ショート）や腐食による接触不良などにより、感電事故、誤計測や誤作動などの原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 禁 止	<p>■ モニター盤は、IPX3 相当の防水対策を施していますが、直接ホースやバケツなどで水をかけないでください。</p> <p>入水による短絡（ショート）や腐食による接触不良などにより感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>

そ の 他

 警 告	
 関係法令の遵守	<p>■ 危険物の貯蔵または取扱いをする施設に本製品の設置をする際は、消防関係法令や電気関係法令などに基づいた工事を実施してください。</p> <p>感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 安全設計	<p>■ 電気・電子部品、機器の故障発生とご使用時の装置、システムの製品安全設計のお願い。</p> <p>当社は品質、信頼性の向上に努めていますが、一般的に電気・電子部品、機器はある確率で故障が発生します。また、使用環境、使用条件などによって耐久性が異なります。したがって、当社製品のご使用に当たっては、その製品の故障もしくは寿命により、結果として人身事故、火災事故、または社会的な損害などを生じさせないよう、冗長設計、引火・爆発防止設計・延焼対策設計、誤作動防止設計などの安全設計や1年に1回以上の保守点検の実施をお願いいたします。</p>
 接点定格内での使用	<p>■ 本製品と他の製品または電気回路などを接続する際は、本製品の接点定格の範囲内でご使用ください。</p> <p>感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 設置環境	<p>■ 本製品は仕様書に基づいた環境に設置してください。</p> <p>感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 適正な取付け	<p>■ 本製品は取扱説明書に基づいて正しく取り付けてください。</p> <p>感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 禁 止	<p>■ 本製品の上に乗るなど、外的な荷重をかけないでください。</p> <p>感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 専門技術者による工事	<p>■ 本製品の取付・設置・結線・作動確認・保守点検などの作業については、計装工事または電気工事などの専門技術者が実施してください。</p> <p>感電事故、誤作動などの故障の原因となるほか、本来の機能が正常に作動しないおそれがあります。</p>
 産業廃棄物処理	<p>■ 保守点検などで交換した部品や機器類は、産業廃棄物として処理をしてください。</p> <p>環境汚染の原因となります。</p>
 メンテナンス・コール	<p>■ 異常を見つけたときは、当社へ速やかにご連絡ください。</p> <p>本製品に対して異常や不明点など、何かお気付きの際は速やかに最寄りの当社支店・営業所（7ページ）へご連絡ください。</p>
 補修用性能部品	<p>■ 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。</p> <p>性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。</p> <p>ただし部品メーカーの生産中止などにより、8年未満であっても供給不可能な場合が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。</p>

そ の 他

 警 告	
 警 告	<p>■ 本製品は木片を対象としています。 適用可能な対象物へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所(7ページ)へお問い合わせください。 なお、当社で適用可能と認めていない対象物へのご使用の場合は、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。</p>
 警 告	<p>■ 当社は、当社が実施した機器の取付・点検・修理・取替等の作業において、当社の責めによって現地設備(貯蔵サイロ・配管・電線等)に故障や破損等が生じた場合は、無償で同設備の補修や修復を行います。但し、故障や破損等の発生が</p> <p>①現地設備の老朽化 ②不可抗力 ③地震など外的要因</p> <p>等に起因するものである場合はこの限りではありません。 なお、上記の補修や修復以外については、当社の責任の有無にかかわらず、いかなる場合においても上記故障や破損等に起因または関連する直接損害、間接損害、特別損害、拡大損害、逸失利益、その他一切の損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。</p>
 警 告	<p>■ 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変または公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによって生じた、本製品、または、本製品と当社の他製品もしくは他社の製品とを接続した際の不具合に起因または関連する直接損害、間接損害、特別損害、拡大損害、逸失利益、その他一切の損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。</p>
 警 告	<p>■ 本製品の保証期間は納入から1年間とし、保証期間内に本製品に不具合(誤計測や誤作動など)が生じた場合は、当社は無償で本製品の修理または交換を行います。但し、不具合の発生が当社の責めによらない場合はこの限りではありません。</p> <p>なお、上記の製品保証以外については、当社の責任の有無にかかわらず、いかなる場合においても下記(1)(2)に起因または関連する直接損害、間接損害、特別損害、拡大損害、逸失利益、その他一切の損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。</p> <p>(1) 本製品の使用や不具合 (2) 本製品と当社または他社の製品(ソフトを含む)などを接続、連携や併用等を行った際の使用や不具合</p> <p>ここでいう「製品(ソフトを含む)などを接続、連携や併用等」とは、下記①②などのあらゆる接続、連携や併用等を意味するものとします。</p> <p>① 本製品と当社の製品(ソフトを含む)やサービス(役務等)などの接続、連携や併用等 ② 本製品と他社の製品(ソフトを含む)やサービス(役務等)などの接続、連携や併用等</p>

サービスネットワーク

東京営業本部	〒152-0002	東京都目黒区目黒本町 2 丁目 9-5 TEL (03)3716-5777(代) FAX (03)3716-2384
本 社	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前 4 丁目 33-32 TEL (092)431-5131(代) FAX (092)431-3851
東京支店	〒152-0002	東京都目黒区目黒本町 2 丁目 9-5 TEL (03)3716-2391 FAX (03)3716-2384
横浜営業所	〒246-0031	横浜市瀬谷区瀬谷 4 丁目 19-5 TEL (045)301-9557 FAX (045)301-9558
大宮営業所	〒331-0811	さいたま市北区吉野町 2 丁目 192-5 TEL (048)663-9775 FAX (048)663-9758
名古屋支店	〒453-0056	名古屋市中村区砂田町 3 丁目 18 TEL (052)411-7782 FAX (052)411-7791
大阪支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原 1 丁目 4-20 TEL (06)6399-0515 FAX (06)6399-0516
札幌営業所	〒003-0002	札幌市白石区東札幌二条 3 丁目 2-39 TEL (011)812-9528 FAX (011)812-9529
青森営業所	〒030-0853	青森市金沢 3 丁目 8-40 TEL (017)735-5222 FAX (022)239-6627
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町 1 丁目 12-4 TEL (022)239-6626 FAX (022)239-6627
金沢営業所	〒921-8016	金沢市東力町二 201 TEL (076)292-1612 FAX (076)292-1621
岡山営業所	〒700-0964	岡山市北区中仙道 1 丁目 1-31 TEL (086)243-3255 FAX (086)245-1232
広島営業所	〒733-0003	広島市西区三篠町 2 丁目 3-22 TEL (082)237-9231 FAX (082)237-9244
高松営業所	〒760-0008	高松市中野町 27-14 TEL (087)834-7555 FAX (087)834-7562
松山営業所	〒790-0932	松山市東石井 6 丁目 2-1 TEL (089)958-9261 FAX (089)958-9261
福岡支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前 4 丁目 33-32 TEL (092)431-1000 FAX (092)431-3851
鹿児島営業所	〒890-0063	鹿児島市鴨池 1 丁目 18-1 TEL (099)252-5861 FAX (099)252-5732
沖縄営業所	〒901-2126	沖縄県浦添市宮城 6 丁目 25-5 TEL (098)878-6068 FAX (099)252-5732

[S K K ホームページ] <http://www.showa-kiki.co.jp>